

17. 第12回MSJ-SI(2019年度)開催 報告書

- 第12回日本数学会季期研究所「Stochastic Analysis, Random Fields and Integrable Probability」／「確率解析, 確率場と可積分確率」
- 日時: 2019年7月31日(水)～8月9日(金)
- 場所: 九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂
- 組織委員: 長田 博文(九州大学), 稲濱 讓(九州大学), 熊谷 隆(京都大学), 笹本 智弘(東京工業大学), 白井 朋之(九州大学), 種村 秀紀(慶應義塾大学)
- 運営委員: 江崎 翔太(福岡大学), 針谷 祐(東北大学), 星野 壮登(九州大学), 稲濱 讓(九州大学), 篠田 正人(奈良女子大学), 白井 朋之(九州大学)
- 参加者総数: 118名, (内訳) 中国5名, フランス3名, アメリカ4名, スイス1名, インド1名, 韓国8名, チュニジア1名, イギリス3名, ドイツ1名, オランダ1名, カナダ1名, 台湾3名, シンガポール1名, ポーランド1名, 日本人84名.
- <http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~osada-labo/msj-si2019/jp/index.html>
- 概要: 今回の日本数学会季期研究所は, 「Stochastic Analysis, Random Fields and Integrable Probability」～確率解析, 確率場と可積分確率～を主題に, 6名の連続講演(1時間×3), 長短合わせて25の招待講演から構成した. また, 若手を念頭にポスターセッションを行い, 各自5分の講演とポスターでの説明を行った. 連続講演は, 確率解析とともに, 可積分確率など, 日本の確率論のコミュニティには比較的なじみが薄い重要なテーマも選んで講演者を招聘した.
当初は, 80名程度の参加者を想定して, 九州大学マスコア研究所のオーディトリウムを会場に選び準備していた. レジスト

レーションを終了すると118名の参加者となり, 急遽会場を変更した. 新しい会場, 九州大学椎木講堂のホールは, 黒板はないものの, 使いやすく, 結果的に正解だったと思う.

開催期間中に予想通り, 台風の襲来を受けたが, 特に被害はなく事なきを得た.

招待講演は, 長短2種類準備した. スケジュールは少しタイトになったが, 特に, 将来を期待される若手に講演する機会を与えられてよかったと思う. また, 女性招待講演者も, 4名を数えた. ポスターセッションを行うことで, 博士学生, ポスドククラスの若手の参加者に研究成果発表の機会を与えることができ, 盛り上がったと思う.

- 連続講演者: Louigi Addario-Berry (McGill University), Alexander I. Bufetov (Aix-Marseille Université), Ivan Corwin (Columbia University), Frank den Hollander (Universiteit Leiden), Gregory F. Lawler (The University of Chicago), Grégory Miermont (École Normale Supérieure de Lyon)
- 講演者: 阿部 圭宏(千葉大学), Riddhipratim Basu (Tata Institute of Fundamental Research), Julien Berestycki (The University of Oxford), 福島 竜輝(京都大学), 舟木 直久(早稲田大学), Subhroshekhar Ghosh (National University of Singapore), Nina Holden (ETH-ITS Zurich), 星野 壮登(九州大学), 今村 卓史(千葉大学), 梶野 直孝(神戸大学), 香取 眞理(中央大学), 楠岡 誠一郎(京都大学), Xinyi Li (The University of Chicago), Jacek Malecki (Wroclaw University of Science and Technology), 中島 秀太(名古屋大学), 岡田 いず海(九州大学), Yanqi Qiu (Chinese Academy of Sciences), Pierre-François Rodriguez (Institut des Hautes Études Scientifiques), 坂井 哲(北海道大学), 佐々田 槇子(東京大学), Insuk Seo (Seoul National University), 白石 大

典 (京都大学), Li-Cheng Tsai (Rutgers University), 角田 謙吉 (大阪大学), Rongchan Zhu (Beijing Institute of Technology)

- 報告集 : ASPM から出版予定
(組織委員会委員長 長田博文 記)